

中間報告会

プログラム

開会の辞

鈴木 衛 学長

17:00~

第一部

17:05 ~ 18:05

宮澤 啓介 生化学分野 主任教授 (プロジェクト代表)

- ・プロジェクトの概要と展望
- ・マクロライド抗生剤のオートファジー阻害活性とその臨床応用

宮原 か奈 乳腺科学分野 臨床研究医

転移性乳癌に対するアグリソームを標的とする新規治療法の可能性

平本 正樹 生化学分野 准教授

チロシンキナーゼ阻害薬によるオートファジー活性変動に関わる分子標的探索

半田 宏 ナノ粒子先端医学応用講座 特任教授

アフィニティ磁性ビーズによる標的因子の同定から創薬まで

伊藤 拓水 ナノ粒子先端医学応用講座 准教授

CRBNの生物学的意義の解析

— 質疑応答 —

第二部

18:10 ~ 19:25

中島 利博 医学総合研究所 教授

シノビオリンの発見から実用化まで

藤田 英俊 医学総合研究所 講師

組織特異的な結合因子の探索を基盤としたシノビオリンの生体機能の解明

善本 隆之 医学総合研究所 教授

炎症性腸疾患発症に関与するIL-23R蛋白質の新しい発現安定化機構

林 由起子 病態生理学分野 主任教授

遺伝性神経筋疾患の病態解明と治療法探索

— 質疑応答 —

外部評価委員の先生方による総評

19:25~19:30

1月30日 月曜日 17:00~19:30

大学病院 自主自学館 3F 大会議室

* どなたでもご自由にご参加頂けます
また、終了後病院カフェテラスにて懇親会を催しますの是非ご参加ください